

出展作家

## 長沼隆代

創作和紙人形作家／“Japanesque Doll”主宰

Japanesque Doll

### プロフィール 長沼隆代

- ◆山口県山口市徳地在住。かつての徳地町であったこの地域は、中国山地の山懐に抱かれ、水と風土、景観に恵まれた「日本の原風景」のような場所。
- ◆結婚以来この地で、家業に子育てにと、ごく一般的な女性としての生活を送ってきたが、地域のサークル活動に参加したことから、和紙人形づくりと初めて接点を持つ。
- ◆その後、ある作家の作品展に感銘と衝撃を覚え、「和紙人形作家になる」と自らに宣言。
- ◆2004年から作家活動をスタート。同年、ARTBOX「ドール新人賞」入選。以来、宝鏡寺公募展、和紙の仕事大賞展、ユザワヤ・ニュークリエイティブ展等、各種受賞多数。

- ・全日本紙人形協会会員    ・現代手工芸作家協会会員
- ・国立山口徳地青少年自然の家（和紙細工講師）
- ・和紙人形教室『ジャパネスクドール』主宰    ・NHK山口文化センター 一日講座 等

#### 【関連サイト】 ※ご参照ください

- ◎長沼隆代 HP(トップ)⇒ <http://www.c-able.ne.jp/~logu/>
- "    プロフィール紹介画面⇒ <http://www.c-able.ne.jp/~logu/image2.htm>
- ◎ブログ「うつくしき日本」⇒ <http://takayodoll.exblog.jp/>
- ◎エキサイトブログ<アトリエ訪問> ⇒  
[http://atelier.woman.excite.co.jp/interview/rid\\_2609/pid\\_3.html](http://atelier.woman.excite.co.jp/interview/rid_2609/pid_3.html)

### 作品について～Japanesque Doll～創作和紙人形

#### ●長沼隆代<創作和紙人形>●

針金を芯材として用い、肉付けして和紙を巻いて仕上げる。

このオーソドックスな手法を基本として踏襲しながらも、オリジナルの技法も加味したのが、長沼先生の「創作」和紙人形～Japanesque Doll～です。その特徴をいくつか挙げますと・・・

#### **特徴①: 表現の繊細さ**

芯材のワイヤーを精妙に加工することで、人体の細かな動きや風を受けた着物の姿、指先の表情に宿る主人公の心理などまでも、繊細に表現。

#### **特徴②: 目と鼻を描く。台座に固定しない**

顔に目と鼻を描く(和紙人形では珍しいとされています)ことで、表情・感情を豊かに表現。また、足までしっかり作り込み、台座に接着・固定せず「自立する」人形とする(これも珍しい)。このことにより、展示・レイアウトが自在となり、後述の物語性を高める一因ともなる。

#### **特徴③: 高い物語性**

テーマ・時代・人物・・・等が明確に設定されている作品が多い。見ているだけで、自ずと物語の絵巻を紐解いていくような感覚を覚えるストーリー性。

#### **特徴④: 和紙そのものの風合い・美しさ**

使用する主な和紙は、友禪和紙・地元山口県の徳地(とくぢ)和紙。

友禪和紙は、京都で考案された「着物と同じ柄」を持つ和紙。テーマや人物に沿って行われる和紙選び・柄選びに、繊細なセンスが発揮される。

一方、徳地和紙には柄がないが、その清浄な白さと風合いを生かした作品も多い。また、テーマによっては、無地の和紙をオリジナルで染色する場合もある。

### **開催メッセージ～店主より**

#### **◎「ジャパネスクドール展」長沼隆代**

時代の節目・2018年。「明治150年」であり、

今また「平成最後の夏」を見送りつつあります。

迎えるこの秋・10月、紅椿それいゆでは、

長沼隆代先生による恒例・創作和紙人形の企画展を催します。

それぞれの時代の物語～Roman～を託した

「ジャパネスクドール展」。

ぜひ、ご高覧ください。